令和７年度　松江駅周辺地域暴走族根絶対策推進会議　議事録

１　開催日時

令和７年７月 15 日（火）14 時～14 時 35 分

２　開催場所

白潟公民館　３階　研修室

３　出席者

⑴松江駅周辺地域暴走族根絶対策推進委員

白潟公民館長	松本　道博
朝日公民館長	田川　伊智子
白潟地区交通安全協会	鳴　教行
朝日地区交通安全対策協議会	松浦　明宏
白潟地区町内会連合会	西村　佳夫
朝日地区町内会自治会連合会	安原　眞之
昭和町町内会	武部　弘行
松江市立第三中学校	諏訪部　淳
松江警察署松江駅前交番	恩田　秀和
松江市交通安全対策会議	曽田　二朗

⑵事務局

松江市総務部総務課長	中岡　宏樹
松江市総務部総務課総務係　交通防犯リーダー	秋田　直樹
松江市総務部総務課総務係	樋口　朝香

４　会議次第・議事録

⑴推進委員の委嘱

議長に白潟公民館長　松本委員、副議長に朝日公民館長　田川委員を選出。

⑵議題

ア　暴走族根絶対策推進の過程について（秋田交通防犯リーダー）

対策推進会議の過程については、資料のとおり。また、「暴走族等について」という資料を 10 頁に載せている。内閣府等のホームページからの引用により作成したもの。

【質疑】

問）「暴走族による道路交通法、道路運送車両法違反の検挙状況」について、旧車會の検挙人員が令和6年度に大きく増えているのはなぜか。

答）内閣府ホームページより件数のみを引用したものであり、検挙人員が増加した理由については不明である。

イ　最近の暴走族の情勢と松江警察署の交通安全に対する取組み

（秋田交通防犯リーダー）

現在、松江警察署管内には暴走族の団体の把握はない。しかし、単独の爆音走行が散見されるところであり、今年に入って、無免許でマフラーを外したバイクに乗り、爆音走行していた少年2人を検挙している。

また、近年はSNSを利用して、見知らぬ者同士が集団となり暴走を敢行する状況があり、継続的な取締りが必要であると感じている。

ウ　今後の対策について（松江市交通安全対策会議　曽田参事）

本推進会議が設置された平成11、12年頃は、全国でも約28,000人の暴走族が把握されていたが、現在はピーク時の約5分の1程度まで減少している。しかし、近年では増加傾向に転じており、現在は144グループ、約5,880人が把握されており、楽観視できる状況ではない。また、旧車會については、少しずつ減少傾向にあり、現在391グループ、5,194人が把握されている。

暴走族が減少したとはいえ、首都圏を中心にバイクや自動車を連ね信号無視や蛇行運転などの危険かつ迷惑性の高い暴走行為は相変わらず頻発しており、全国的に見ると、少年グループによる集団暴走はゲリラ的に行われている状況である。

現在の特徴としては、SNS等で集団暴走を呼びかけ、それに応じて見知らぬ少年等が集合して暴走する、また、そのSNSを見て多数のギャラリーが集まって集団暴走を煽るといったことが挙げられる。

松江市内の情勢については、組織的な暴走族や旧車會は把握されておらず、単発的な爆音走行が散見されるに留まっているが、全国で発生しているような暴走行為が松江で敢行されないという保証はなく、周囲の大人が兆しに敏感になり、いずれは交通社会に参加することになる若者に、正しい交通ルールとマナーの実践を指導していくことが重要だと感じている。

SNSが普及した現代においては、景勝地などに向けた大規模な集団走行を行う旧車會にとっては松江市は格好のターゲット地点になり得る。また、これから秋にかけては、祭礼等のイベントも開催され、爆音・暴走行為が行われる危険性が高くなる時期でもある。

このような状況を踏まえ、暴走族、暴走行為に関する情報があったときや、その

予兆が感じられた時には、警察に通報あるいは相談をするとともに、各機関が連携し、小さな芽のうちに対応することが何より重要と思うので、協力をお願いする。

⑶意見交換

松江警察署松江駅前交番所長　恩田委員から、松江署管内の情勢について講話をいただいた。

⑷閉会